1．科目名（単位数）	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ（S）　　（2 単位）	3．科目番号	
2．授業担当教員	小金澤　嘉、田中　良幸		
4．授業形態	講義，個別学習・指導，グループ学習	5．開講学期	秋期
6．履修条件・他科目との関係			
7．講義概要	ソーシャルワーク実習指導は、実習指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲとソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習を軸として継続的に展開するよう構成されている。これらの授業の主な学習方法は、資料による情報収集、文献調査、グループ討議、ロールプレイ等多様な方法を用いて、社会福祉実践に必要な知識と技能の具体的な学習、また実習前・中・後指導を通じて、理論と実践との統合を図ることを目的としている。 ソーシャルワーク実習指導Ⅰでは、専門職養成における実習の意義、法的な位置づけ、どのように実習が展開されるのかという基本的学習を中心として、次年度に行う実習に必要な知識を学習する。		
8．学習目標	ソーシャルワーク実習指導Ⅰが終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。 1）実習（ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習）の意義について理解する。 2）実習施設・機関の概要について明瞭な説明ができる。 3）資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。 4）個人のプライバシーの保護と守秘義務について理解する。		
9．アサイメント（宿題）及びレポート課題	課題 1：実習を希望する実習種別に関して、その希望動機と関連法令、規定されたサービス内容について、まとめなさい。 課題 2：実習配属施設・機関に関して、その関連法令、規定されたサービス内容等施設・機関の概要についてまとめなさい。		
10．教科書・参考書・教材	【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『ソーシャルワーク実習指導・実習（社会専門）8』中央法規出版、2021.2 【参考書】 東京福祉大学『ソーシャルワーク実習の手引き』　※講義にて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士実習　学習の手引き』　※講義にて配布		
11．成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1．実習（ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習）の意義について理解する。 2．実習施設・機関の概要について明瞭な説明ができる。 3．資格取得に対する動機を明瞭に説明できる。 4．個人のプライバシーの保護と守秘義務について理解する。 ○評定の方法 1．課題 1　30% 2．課題 2　30% 講義参加度（事前事後学習、提出物等状況を含む）　40% なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の取得を認めない。 また、本学規定により、本講義未収得者への実習配属は行わない。		
12．受講生へのメッセージ	本科目では、学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を養成し、より実践的な技術、知識を得ることを目的としている。目的達成のため、受講生は以下の条件を守ること。 1．授業中は、常に高い緊張感と、集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。 2．自ら進んで教員に質問すること。理解できないことをそのまま放っておかないこと。 3．欠席、遅刻、早退をしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合はその理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4．明らかに授業態度が悪いと判断された際は、厳格な指導を行う。指導後も授業態度の改善が見られない場合、たとえ皆出席であってもＦ評価になるので注意すること。 5．授業中、私語、居眠り、携帯電話等の操作は絶対にしないこと。 教員は以下のことを実行する。 1．授業の目的、目標を明確にし、授業の進行はシラバスに沿って行う。 2．受講生全体に聞こえる大きさの声で話しをするとともに専門用語はわかりやすく説明する。 3．一方通行の講義だけを行うのではなく、ディスカッションを行いながら、学生が積極的に授業に参加（発言、発表等）できるよう双方向対話型の学習環境を作る。 4．遅刻、早退、授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用等、授業に臨むうえで不適切な態度が見受けられた場合は、厳格に対処する。		
13．オフィスアワー	第 1 回の講義時に通知します。		

14．授業展開及び授業内容

講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	・ソーシャルワーク実習指導Ⅰのねらいと単元の解説、講義の進め方についての説明 ・講義、演習、実習の循環について（テキスト pp2-6）	事前学習	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ用のノート（もしくはファイル）を準備し、併せてテキスト「序章」を熟読する。
		事後学習	テキスト「序章」を熟読し、講義・演習・実習の循環についてノートにまとめる。
		配布物	『ソーシャルワーク実習の手引き』、『学習の手引き』、学生調査票

第２回	・実習前中後の流れ（全体像）と指導体制についての理解（東京福祉大学「ソーシャルワーク実習の手引き」使用） ・実習に関する基本的ルールの確認 （東京福祉大学「ソーシャルワーク実習の手引き」使用）	事前学習	実習で学びたいことをノートにまとめる。
		事後学習	『ソーシャルワーク実習の手引き』をを参照に東京福祉大学の実習の仕組み（全体像）についてまとめる。
第３回	・実習および実習指導の意義と目的について理解する（テキスト pp. 2～19）： 専門職養成において実習を実施することの意味・意義について理解を深める	事前学習	テキスト pp. 2-19 を熟読し内容を確認、また不明な点を書き出す。
		事後学習	「(専門職養成において）なぜ実習が必要なのか？」についてまとめる。
第４回	・実習の構造及び東京福祉大学における実習（ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習）の理解（テキスト pp. 37-44 及びソーシャルワーク実習の手引き使用）： 実習において求められる教育内容と本学の実習目標を相互に理解し、実習目標への理解を深める	事前学習	テキスト pp. 37-44 を熟読し内容を確認、また不明な点を書き出す。
		事後学習	東京福祉大学の実習（ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習）の目標についてノートにまとめる。
第５回	・実習におけるスーパービジョンの理解（テキスト pp. 20-23）： スーパービジョンに関する基本的知識の確認と本学の実習巡回指導及び帰校指導の方法について理解する ・実習における教育評価の理解（テキスト pp. 24-36）： 実習における評価の意義と方法を知るとともに、本学の実習評価の仕組みについて理解する	事前学習	テキスト pp. 20-23、pp. 7-44 を熟読し内容を確認、不明な点を書き出す。
		事後学習	スーパービジョンの意義と目的、評価の意義と目的についてノートにまとめる。
第６回	・実習（ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習）が可能な施設・機関の紹介と説明（テキスト pp. 73-79 及び東京福祉大学「ソーシャルワーク実習の手引き」使用）：法定施設・機関の紹介と希望種別の選択	事前学習	テキスト pp. 73-79 を熟読し内容を確認、不明な点を書き出す。
		事後学習	実習希望種別を選別しするとともにその動機についてノートにまとめる。
第７回	・事前学習として実習先を理解する意義（テキスト pp. 58-63）： 希望種別に関する事前学習レポートをまとめる（課題 1） ・社会福祉士資格取得に関する動機及び実習先種別に対する動機の明確化	事前学習	実習希望種別に関する情報を収集する。
		事後学習	課題 1 の作成（講義内で示される提出期限厳守）。
第８回	・実習施設・機関の基本的理解： 個人レポート（課題 1）の発表と共有	事前学習	希望種別に関するプレゼンテーションの準備。
		事後学習	教員・クラスメンバーからのフィードバックをまとめる。
第９回	・実習施設・機関の基本的理解： 個人レポート（課題 1）の発表と共有	事前学習	希望種別に関するプレゼンテーションの準備。
		事後学習	教員・クラスメンバーからのフィードバックをまとめる。
第 10 回	・実習先の配属 ・実習施設・機関に関する学習（テキスト pp. 82-103）： 実習先決定後の学習内容について理解する ・誓約書・個人調書等書類の作成(実習への抱負の明文化)： 実習実施に必要な各種書類の作成について理解する	事前学習	東京福祉大学「ソーシャルワーク実習の手引き」を熟読し、実習配属から実習実施までの流れを再確認する。
		事後学習	実習施設に関する情報収集を行い、ノートにまとめる。
		配布物	実習配属通知、個人調査書（実習先提出用） 実習記録必要書式のコピー（施設概要及び実習プログラム案下書き用紙
第 11 回	・実習施設・機関に関する学習（テキスト pp. 82-103）： 実習施設・機関に関連する情報の収集方法について理解し、情報収集を行う ・個人調書等書類の作成（社会福祉士資格取得の動機の明文化）	事前学習	「社会福祉士を目指す動機」「思い描く社会福祉士像」について言語化できるようまとめる。
		事後学習	個人調書を作成し、教員から添削を受ける。
第 12 回	・「実習施設・機関の概要」の作成： 実習配属施設・機関に関して、その関連法令、規定されたサービス内容等施設・機関の概要についてまとめ方について理解する。	事前学習	テキスト pp. 84-103 を参照し、実習施設・機関について調べるべき事項に関わる情報を収集する。
		事後学習	課題 2 の作成（講義内で示された提出期限厳守）。
第 13 回	・実習計画書の作成（テキスト pp104-109）： 実習計画の意義と内容、作成方法について理解する。	事前学習	テキスト pp. 104-109
		事後学習	実習計画書の下書きを作成し、担当教員へ提出する。

第 14 回	・実習におけるリスクマネジメント（テキスト pp. 45-55）： 個人情報保護法の理解を含め、実習におけるリスクマネジメントの必要性と重要性において理解を深める ・新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染等防止対策について： 感染防止対策に関する基本的事項について確認する。	事前学習	テキスト pp. 45-55 を熟読し内容を確認、不明な点を書き出す。
		事後学習	感染症防止の基本的事項と留意点をまとめる。
第 15 回	・学習のまとめ ・ソーシャルワーク実習指導Ⅱに向けた課題	事前学習	ソーシャルワーク基礎実習に係る各種書類を整え、不足がないかを確認する。
		事後学習	ソーシャルワーク基礎実習及びソーシャルワーク実習指導Ⅱに向けた自己課題についてまとめる。